

北前船寄港地が日本遺産に認定

この度、函館市を含む松前町(北海道), 鱒ヶ沢町・深浦町(青森県), 秋田市(秋田県), 酒田市(山形県), 新潟市・長岡市(新潟県), 加賀市(石川県), 敦賀市・南越前町(福井県)の11市町が共同で申請したストーリー「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」が、日本遺産の認定を受けました。

函館市では、函館山, 箱館奉行所跡, 高田屋敷跡, 高田屋本店跡, 巖島神社が北前船寄港地・船主集落としてのストーリーを構成する文化財として位置づけられています。

※「日本遺産(Japan Heritage)」は、地域の歴史的の魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。ストーリーを語るうえで欠かせない魅力あふれる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

概要

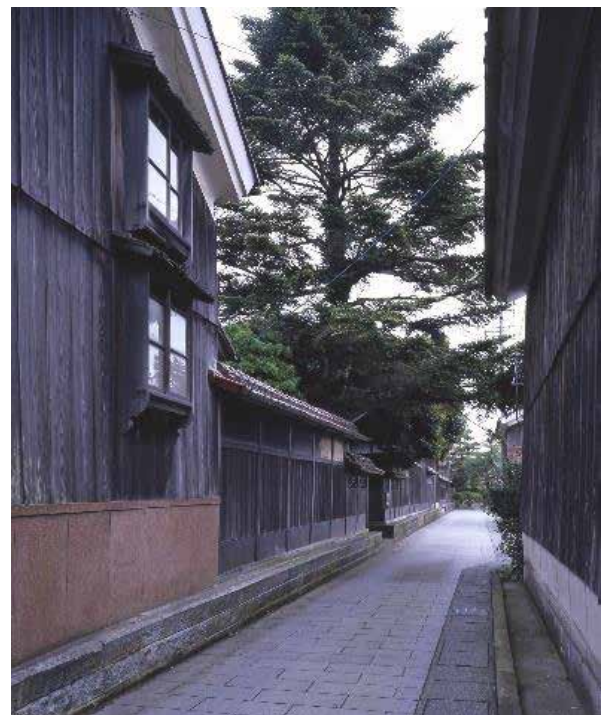
タイトル

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

ストーリー

日本海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。

これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。



北前船主屋敷蔵六園(加賀市)

函館のストーリー構成文化財

1 函館山

北前船の船乗りたちが出港前に日和我をみた場所となっています。



2 箱館奉行所跡

しゃくだにいし
北前船で運ばれたとされる笏谷石が礎石に使われていた奉行所です。



3 高田屋屋敷跡

北前船で財をなした高田屋は、箱館に屋敷を構え、蝦夷地の拠点としていました。



4 高田屋本店跡

船が着く港には、高田屋の本店が置かれ様々な物資の取引がされていました。



5 巖島神社

参道には加賀橋立の北前船主たちが寄進した鳥居があります。



お問い合わせ

函館市観光部コンベンション推進課

電話 0138-21-3453

メール convention@city.hakodate.hokkaido.jp

構成文化財の位置図



元町地区 詳細図



五稜郭地区 詳細図

